

CONTENTS

地域発NEWS	1~4
国有林野所在市町村の魅力紹介	5~6
特集コーナー	7
使える！ 行政情報&	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人	9
東北森林管理局の管内で	10
予定されているイベント情報	

みどりの
Midori no Tohoku
東北
No.245
令和6年2024.8
林野庁 東北森林管理局
Tohoku National Forest Regional Office



やげん
薬研溪流に架かる乙女橋は、昭和58年に設置された
つり橋で長さ47m幅1.5mです。
つり橋を渡った先は大畑森林鉄道の軌道跡を利用した
遊歩道で、溪流に沿ってウォーキングが楽しめます。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

秋田駒ヶ岳の生態系を保全

秋田

秋田森林管理署

秋田県仙北市と岩手県雫石町にまたがる秋田駒ヶ岳は、十和田八幡平国立公園の南端に位置し、標高1,637mと秋田一の標高を誇ります。山頂一帯に咲くコマクサなどの数百種類の高山植物群は、国の天然記念物に指定されているため、毎年、盗採掘防止及び公園利用者に対する啓発活動として、関係機関による合同パトロールを実施しています。



高山植物の女王「コマクサ」

今年度、秋田県側では、当署から5名、環境省鹿角管理官事務所、秋田県生活環境部と仙北地域振興局、仙北市が参加し、総勢15名により6月18日に実施しました。

当日は、八合目を出発し、阿弥陀池、男女岳、横岳、焼森を経由するコースで高山植物の盗掘跡や、防護柵内への高山植物生育エリアへの立ち入りの有無等を調査し、放置されたゴミを回収しました。途中、阿弥陀池では岩手県側からのパトロール参加者と合流し、情報の交換を行いました。



合同パトロールの様子

今回のパトロールでは、盗採掘等はみられませんでした。当署では、今後も関係機関と連携し、秋田駒ヶ岳の生態系の保全に努めていきます。

郷土への関心を深めるために

青森

津軽森林管理署金木支署

当支署では、平成24年度より中泊町立中里中学校と遊々の森（あすなろ自遊モリ森）協定を締結しています。森林・林業に関する体験活動を通じて、県木・町木である青森ヒバの森林を守り育てることや、貴重な故郷の森林を後世に遺していくことの大切さを学び、地元への関心を高めることが目的です。

今年度1回目の活動として、6月4日に1年生44名を対象とした森林教室と空中取り木苗作製作業を行いました。はじめに、空中取り木苗は、雪などに潰されたヒバの枝が地面に触れるとそこから発根し、やがて立木として成長するヒバの特性を生かした苗木の作製方法であることと、森林の役割についてスライドで説明した後に、作業箇所へ移動して作業開始です。作業は、ヒバの枝から樹皮を取り除き、ミズゴケで覆いラップを巻き、両端を紐で縛って完成です。なお、9月にはこの苗を生徒たちがあすなろ自遊モリ森に植樹します。



生徒が作製した空中取り木苗

活動後のアンケートには、全員から「森林に対する興味がわいた」、中には、「青森ヒバを後世に遺していこうという気持ちを持つことができた」と大変喜ばしい感想がありました。

地域の森林や林業に関心を持ち、次世代を担う人材となってもらえるよう今後も取り組みます。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

令和4年8月豪雨災害からの早期復旧に向けて

山形

置賜森林管理署

近年の記録的な集中豪雨や度重なる大型台風の接近などにより、洪水や土砂崩れなどの災害の発生が多くなっています。

そのような中、当署管内でも令和4年8月に24時間雨量300mmを超える豪雨に見舞われ、多数の林道が被害を受けました。

中でも、木の根沢林道は、併設されていた農業用水路も被害を受けたため、周辺集落の主な産業である農業に大きな影響を与えました。



被災直後の木の根沢林道

本林道の復旧にあたっては、農業用水路及び関連施設の復旧並びに農作物へ影響を及ぼさないよう施工する必要がありました。

そのため、工事の種類や方法、作業時期など、工事関係者や農業施設の管理者、地元住民と調整し、細心の注意を払いながら工事を進めました。

また、今後の大きな自然災害に耐え得る排水施設を設置し、災害に強い林道へと復旧しました。



復旧後の木の根沢林道

あの豪雨災害から2年が経過しようとしていますが、まだ復旧できていない林道もあることから、当署では、一日も早くすべての林道が通行できるように引き続き復旧工事に取り組んでいます。

伐採木を利用した丸太筋工

岩手

三陸中部森林管理署

森林内の下層植生は、近年増加傾向にある集中的な大雨による土砂流出を防止する役割を担っており、適切な森林管理を行わなければ、本来の役割を発揮できなくなり、山地災害の発生リスクも高まってしまいます。

下層植生の生長には、十分な林内照度が必要なため、上層にある植栽木等の本数を調整し伐採する保安林整備（本数調整伐）を行っています。

本数調整伐により伐採した木は、従来、下流に流れないようにしたうえで林内に据え置くことが一般的でしたが、令和4年度からは伐採木を有効利用した丸太筋工との組み合わせによる保安林整備に取り組んでいます。

丸太筋工とは、柵状に組んだ丸太を林内に設置し、雨水の集中流下を抑えて地表浸食の防止を図り、下流への土砂流出



設置した丸太筋工

を防止することを目的とした工法です。この工法は重機等を使用しない簡易な工法であり、現地で発生した木材の有効利用にもつながるものです。

今後も森林の持つ土砂流出防止などの公益的機能を維持回復する効果的な保安林整備を実施していきます。



公益的機能が発揮された森林と満々と水を蓄えた日向ダム

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

病虫害と獣害の予防に向けた監視

山形

山形森林管理署最上支署

森林は、常に病虫害や野生鳥獣による被害の危険にさらされており、国有林では森林資源を守るための監視をしています。

樹木が枯死してしまう森林病虫害の状況としては、ナラ枯れ被害に関しては、最上峡において蔓延した時期もありましたが、平成29年度の駆除処理以降、目立った被害は確認されていません。また、松くい虫被害に関しては、最上地域におけるアカマツ林の分布が少ないためか、こちらも目立った被害には至っていません。しかし、近年は春から夏にかけての気温が高く被害の原因となる虫の活動が活発化する恐れもあります。

更に、ニホンジカによる森林被害は確認されていませんが、ツキノワグマがスギの皮を剥いでしまう皮剥ぎが最上地域でも目につくようになってきました。皮剥ぎを受けたことで樹木自体が枯れるまでに至らない場合でも、今後の成長や丸太に加工した際の材質への影響が心配されています。



皮剥ぎを受けたスギ立木

こういった病虫害や野生鳥獣による森林被害を防ぐには、日常的な巡視による早期発見が重要です。県・市町村といった関係機関と被害の状況を共有しつつ、連携・協力して被害の拡大防止に繋がるよう取り組んでいきます。

公益的機能を発揮する森林づくり

秋田

米代東部森林管理署上小阿仁支署

令和3年6月に閣議決定された国の森林林業の基本政策を定めた森林・林業基本計画（以下、基本計画）では、森林の公益的機能と木材等生産機能を同時に発揮することとされています。

基本計画を受け、令和4年度に樹立・策定された当支署の森林計画では、前計画を上回る複層伐（高さの異なる樹木に誘導する伐採方法）の伐採面積を計画し、積極的に帯状の伐採を行うこととしています。

森林計画に基づき当支署では、森林を構成する樹木を部分的に伐採し、その後植林を行うなどにより、年齢や高さの異なる樹木から構成される森林（複層林）を造成する育成複層林の施業をしています。森林に木がある状態を常に保ち、伐採で森林の持つ水源涵養機能や土砂の流出防備機能等が低下することを抑えることができます。



帯状の伐採を行った森林

令和5年度には、伐採から地拵・植付までを連続して行う一貫作業システムにより、帯状伐採から植付までを行っており、水源涵養機能や土砂の流出防備機能等の低下を抑えつつ、事業の効率化や低コスト化も図っています。

当支署では今後とも、森林の状況を見極めながら、公益的機能と木材等生産機能を同時に発揮する育成複層林施業に取り組んでいきます。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

地元住民とつくる高館山

庄内森林管理署

山形

当署管内の高館山は、標高273mと低山ながら、江戸幕府の直轄領として森林の伐採が禁じられていたため巨木が残るほか、標高が低いにもかかわらずブナ林が存在するなど、珍しい植生が見られます。自然休養林にも設定され、地元鶴岡市民に親しまれています。

高館山の山麓には、水鳥にとって大切な湿地を保全するためのラムサール条約登録湿地である大山上池・下池もあり、冬季にはコハクチョウをはじめとする冬鳥や、オオワシ、オジロワシも飛来します。また、大山上池・下池は淡水ため池で、現在も農業用水として使われており、池の水を育む高館山にも地元から高い関心をもっていただいています。

平成27年度に高館山のスギ林を伐採した際には、地元から「在来種であるブナを植えさせてほしい」との要望がありました。そこで伐採後の平成29年に「高館山ブナ植樹イベント」として地元有志を募ってブナを植栽し、当署が4年間下刈を続け、その後ブナは順調に生長しています。



順調に生長しているブナ

今後も地元と連携した多様な森林づくりに取り組みたいと考えています。



ドローンから見たブナ植栽地

林地保全に配慮した森林施業について

三陸北部森林管理署

岩手

近年、各地で頻りに大雨による災害が発生するようになり、山地災害防止機能への関心が高まっています。

当署管内の国有林は、太平洋に面した沿岸部のリアス海岸から内陸部の北上高地に位置していて急峻な地形や岩石地が多く、より山地災害の発生を防止する施業が求められています。また、令和4年3月に作成された「国有林における林地保全に配慮した施業の手引き」において、急傾斜地などでは、林地保全への配慮のため架線による作業システムの導入が適当とされています。

このような中で、令和5年度の当署発注事業において、設置や撤去が容易な自走式の高性能林業機械「タワーヤーダ」を使用した簡易架線集材を実施している林業事業体が、試験的に簡易架線作業システムの導入したことから、今後の可能性を今年度も継続して検討を行う予定です。



タワーヤーダを用いた集材の様子

急傾斜地において威力を発揮する架線系作業システムの導入が進めば、林地保全に配慮した森林施業として非常に有効となることから、今後も事例検討を重ねながら普及に取り組んでいきたいと考えています。

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

岩手



にのへ ぐん いちのへ まち
岩手県二戸郡一戸町

岩手北部森林管理署

一戸町は、岩手県内陸北部に位置し、北上山地と奥羽山脈に囲まれ、西岳（標高1,018m）を頂点に丘陵地が続く、高原の町です。



西岳に広がる「奥中山高原スキー場」

御所野遺跡は縄文時代中期（約5,000年前）の遺跡で、配石遺構を中心に約77,000㎡の台地ほぼ全面に500棟以上の竪穴建物跡が発見されている大規模なムラの跡です。縄文時代の社会構造を知るうえで貴重な遺跡として全面保存し、整備、復元が行われ、2002年に「御所野縄文公園」としてオープンしました。

2021年7月には「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産（北海道、青森県、秋田県、岩手県の4道県に点在する17遺跡で構成）の一つとして世界遺産に登録され、多くの観光客が訪れます。



世界遺産「御所野遺跡」

自然豊かな「奥中山高原・高森高原」は、レタスやトウモロコシなど高原野菜の生産が盛んです。高原で育った乳牛のミルクからチーズやヨーグルト、アイス等の乳製品も作られ、町内に点在する産直市場にはワクワクする食材が並んでいます。



冷涼な気候が育んだ高原野菜

「一戸町観光天文台」での煌めく星空散歩、「奥中山高原スキー場」、「奥中山高原温泉」、「県立児童館いわて子どもの森」など、大人から子どもまで楽しめる魅力が詰まった観光スポットも多くあります。

町内には江戸時代に整備された五街道の一つとして有名な奥州街道跡が残っており、「川底一里塚」を筆頭に景観がよく保たれ、街道ウォーキングツアーなどで親しまれています。

歴史ロマン溢れる一戸町にぜひお越しください。



往事のたたずまいを残す奥州街道「川底一里塚」

お問合せ先：一戸町商工観光課 Tel.0195-33-4855

より詳しい市町村の魅力はこちらから→



国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

山形

山形県西村山郡朝日町

山形森林管理署

朝日町は、山形県の中央部に位置し、磐梯朝日国立公園の主峰・大朝日岳の東縁山麓地域にあります。最上川が町域の南北を約21kmにわたって蛇行北流し、国立公園をはじめとする原生林野が町土の73%ほどを占める、自然環境の豊かな町です。



大朝日岳

朝日町は、世界で唯一の空気を祭る「空気神社」のある町です。「空気神社」は、ブナ林の中にある5m四方のステンレス鏡板が、周囲を映しこむことによって空気を表現しています。本殿は、深さ3mの部分にあり、四季を表す4本の柱から成る鳥居に囲まれた地下空間です。本殿内では、1年を表す12個の素焼き瓶に、きれいな空気を祭っています。春の芽吹きから秋の紅葉が終わるまで、四季の移り変わりによってそれぞれの姿を楽しむことができます。



空気神社

町の特産物はりんごとワインであり、りんごは袋をかけずに栽培する「無袋ふじ」の栽培方法を日本で初めて確立しました。「無袋ふじ」は太陽の光を浴び、蜜が入った美味しいりんごです。ワインは、「良いぶどうがなければ、良いワインは生まれない」を合言葉に、高品質のぶどうの良さを最大限に生かしたワインづくりを行っており、毎年各種コンクールで賞を受賞するなど高評価をいただいています。



無袋ふじ

また、「つなぐ棚田遺産」に認定された「^{くめぎだい}椴平の棚田」に隣接する一本松公園では、町の花である「ヒメサユリ」が初夏に見頃を迎えます。この公園からは、扇形に広がる椴平の棚田の全容を眺めることができます。季節ごとに移り変わる水田の姿を楽しみつつ、大朝日岳などの山並みや眼下に広がる最上川など、美しい風景に出会えます。



椴平の棚田とヒメサユリ

お問合せ先：朝日町総合産業課 Tel:0237-67-2113

より詳しい市町村の魅力はこちらから→



東北森林管理局では、国有林野を管理経営するために、東北5県の17森林計画区別に5年を1期とした地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画を森林管理局長が策定しています。

地域管理経営計画は、国有林野の管理経営に関する基本的な事項を定めた計画です。

国有林野施業実施計画は、個々の森林の管理経営及び森林施業について規定する計画で、具体的な伐採、造林等の箇所や量を定めます。

これらの森林計画は、地域住民、関係者の皆様からの意見を把握の上策定しており、令和6年度は、三八上北（青森県）、大槌・気仙川（岩手県）、雄物川（秋田県）、最上村山（山形県）の4森林計画区が対象となります。



最上村山森林計画区の住民懇談会の様子

【令和6年4月末】

計画策定の対象となる森林計画区の森林管理署長から、住民懇談会での意見や県・市町村、地元関係者の意見、現地の状況を踏まえた意見書が森林管理局長へ提出されました。

【令和6年11月中旬～】

環境省東北地方環境事務所と計画書（案）の内容を調整します。

【令和7年1月中旬～】

計画書（案）の公告・縦覧を行い、国民の皆様からの意見を広く聞きます。

公告・縦覧期間中に国土交通省東北地方整備局と計画書（案）の内容を調整した後、県・市町村から意見を聞きます。

【令和7年3月】

3月上旬に森林計画等に関する検討会を開催し、学識経験者から計画書（案）について意見を聞きます。ここで承認された計画書（案）を踏まえ東北森林管理局長が森林計画を策定し、3月下旬に計画書として東北森林管理局ホームページ上で公表します。

（2）森林計画書の内容

住民懇談会、公告・縦覧、検討会を通じて、国民、関係機関や有識者の皆様から多くのご意見をいただきながら作成する森林計画書は、木材生産に適した森林は人工林として維持し、それ以外の森林は、多様な林齢や樹種により構成される複層林や針広混交林を指向するとともに、天然生林を適切に維持する等、多面的機能の発揮に向けた多様な森林づくりを進める内容とするよう取り組みます。

森林計画の詳細はこちらから→



（1）策定スケジュール

【令和5年（策定前年度）11月～12月】

策定前年度に各森林計画区において、地域住民や地域の関係者の意見を把握するため、住民懇談会を開催しました。

ウォーキングBOOKを持って「森呼吸」を

しん こきゅう

東北森林管理局では、軽装で手軽にシニア世代でも散策を楽しめる森林や公園を管内国有林から紹介する「森呼吸のできるお手軽健康ウォーキングBOOK」（以下、ウォーキングBOOKという。）を制作しました。各森林管理署が1箇所（合計24箇所）を厳選して紹介しています。



ウォーキングBOOKには、おすすめポイント、現地で楽しめる草木や溪谷、職員が実際に歩いて算出した所要時間や歩数を盛り込み、訪れる際の目安となるようにしています。また、日本三大美林の天然ヒバや天然秋田スギの美林ポイントの見どころ等についても紹介しています。

ウォーキングBOOKは局ホームページへの掲載のほか、管内の自治体・図書館等への配布・設置を行うことで各県のマスコミでも取り上げられ、一般の方から「このような場所があることを知ることができて良かった。」「掲載箇所を回ってみたいのでウォーキングBOOKの入手方法を知りたい。」等、多くの声が寄せられています。

これまでの取組の効果で国有林を訪れる方が増加傾向となっていることから、今後はウォーキングBOOK（パンフレット版）やポスターを配布・設置する施設を更に増やしていく予定です。一人でも多くの方に足を運んでもらい、森林の中で「森呼吸」をしながら散策を楽しんでもらいたいと思います。ウォーキングBOOKを持ってぜひ国有林へお越し下さい！

ウォーキングBOOKはこちらからダウンロードできます。詳しいマップやおすすめポイントなどあります。



ご関心のある方は、保全課(TEL:018-836-2417)又は各森林管理署(連絡先は裏表紙参照)へ

ササ類の分布と効果的な駆除方法の違い

森林管理を行う上で、ササ類は植栽苗木や稚樹を被陰し成長を阻害するため、多大な労力を掛けて駆除する対象です。ササ類の分布は積雪深に依存し、50cm以下にはスズタケが、50~150cmにはクマイザサが分布します。ここでは、これら2種の駆除方法を紹介します。

スズタケは全国的にシカの分布とほぼ重なり、以前からシカの食害によって群落単位で衰退が始まっています。これまでにスズタケはほぼ全域で開花・枯死しました。現在、再生途上にありますが、実生は増加傾向にあるシカに食べられ、スズタケの生育は上手く進んでいません。スズタケは上木の伐採や被食などの攪乱に弱いため、伐採後の刈払いで十分に駆除できると考えられます。

一方、クマイザサは明るい場所での刈払いに対する回復力が強いため、駆除に苦勞します。上木の伐採により林床が明るくなるとクマイザサは急速に繁茂します。通常は、植栽後の下刈り作業のタイミングで駆除を開始しますが、これだとササの旺盛な成長に勝てず、林床はササで覆われてしまいます。そこで、伐採と駆除の順番を入れ替えて、伐採前に林床のクマイザサの刈払いを行いました。その結果4年間繰り返して刈払いしたところ、ヒノキ林ではクマイザサを完全に駆除することができました

(写真)。明るい落葉樹林でも貯蔵養分を地下部に下ろす直前、8月後半から9月と刈払い時期を限定すれば、同様の効果が得られる可能性があります。



上木の伐採前にクマイザサの完全駆除に成功した事例

ご関心のある方は、森林総合研究所東北支所(TEL:019-641-2150)へお問合せ下さい。

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」や森林
管理署等で働く人の紹介です。

奥が深い林業

山形

山形県森林ノ整備事業協同組合
株式会社旭林業 玉垣 智裕さん

私が高校卒業後に当社へ入社してから12年になります。当社に入社した動機は、祖父が当社に勤めていたことと、外で体を動かすことや重機がとても好きだったことです。

現在の私の仕事は森林整備部の現場代理人を担当し、主に作業道作設や造林作業を行っています。作業道作設では作業手順を守り、安全な道幅を確保して班員が安心して重機を走行できるように留意しながら作業を行っています。

私は林業に携わってから各種資格を取得し、今では統括現場管理責任者であるフォレストマネージャーの資格も得て、自分の成長とスキルアップを感じながら毎日楽しく仕事をしています。

林業では簡単に見える作業でも一つ一つがとても奥が深く、班員と話し合いながらチームワークで作業を進めていくのも楽しみの一つだと感じています。また、林業は危険な仕事だと思われがちですが、危険な箇所や作業を社長、同僚、班員みんなまで共有し、十分に配慮することにより安全な作業現場を作れると思っています。

林業はとてもやりがいがあって自分の天職だと感じています。このやりがいのある林業の仕事を一緒にしてみませんか。旭林業全社員でお待ちしています。



森で重機を動かすと爽快

森林官の仕事

宮城

仙台森林管理署川崎森林事務所
森林官 入山 友さん

当事務所は、蔵王連峰の麓に位置する川崎町にあります。国有林の面積は、約8,800haで、その中には観光地としても有名で、五色沼とも呼ばれる火口湖「蔵王の御釜」もあります。

森林官の業務は国有林の調査や巡視、地元自治体や住民の方々との連絡調整など多岐にわたり、今年度行った業務としては、請負事業として発注した間伐の監督業務があります。

間伐は、造林木が成長し過密となった森林内の密度を、木を間引くことで調整する作業です。間伐を行わないと森林内に光が届かなくなり下層にある植物の発達が妨げられ、土壌が雨などで流れ出やすくなったり、木が太く成長できなくなったりするためとても大切な作業です。

監督業務では主に、作業を請け負っている事業者が発注内容に基づき作業しているか、決められた区域内で作業しているか、作業方法に問題ないか、そして、安全に作業しているかの確認を行います。間伐箇所は、背丈以上の藪をかき分けなければならない箇所も多くあり、作業をする事業者はもちろん監督する私にとっても大変な仕事です。

林業はこのような危険個所での作業も多く、ケガや事故のリスクが高い職業です。今後も事業者が「最後まで事故無く終わってよかった」と言ってもらえるお手伝いをしていきたいと思っています。



現地確認の様子

8月中旬

マイナスイオン三昧！滝ツアー

8月10日(土)～9月9日(月)
沢のせせらぎや滝をめぐり全身でマイナスイオンを浴びるツアー
(岩手県/北上乗箱)

飯豊 石転び沢の氷河地形観察ツアー

8月10日(土)～8月11日(日)
飯豊連峰で氷河地形と雪渓風の影響を受けた高山植物の観察ツアー
(山形県/(一社)やまがたアルカディア観光局)

国宝羽黒山五重塔プロジェクトマップ

8月10日(土)～8月12日(月)
美しく浮かぶ映像が夏の夜を彩る、キッチンカーの出店なども
(山形県/羽黒町観光協会)

深浦町海上花火大会2024

8月12日(月)
津軽屈指の大玉連弾と山々に反響する轟音を楽しめる
(青森県/深浦町海上花火大会実行委員会)

中尊寺新能

8月14日(水)
中尊寺の野外能舞台の周辺に篝火が燃え、幽玄の世界を展開する
(岩手県/中尊寺新能の会)

男鹿日本海花火

8月14日(水)
第20回の節目の年を迎え「青春」をテーマにした音楽と花火が彩る
(秋田県/男鹿日本海花火実行委員会)

第3回かくだ牟宇姫夏まつり

8月14日(水)
牟宇姫山車パレードなど市民参加型の夏まつり
(宮城県/角田市)

平泉大文字送り火

8月16日(金)
藤原四代公、義経の主従を追善し約100mの大的字が夜空に浮かぶ
(岩手県/平泉観光協会)

栗駒山麓ジオパーク講座・ガイドウォーク体験

8月17日(土)
平成20年岩手・宮城内陸地震の爪あと、荒砥沢地すべりを見学
(宮城県/栗駒山麓ジオパーク推進協議会)

白神山地で沢歩き

8月18日(日)
爽やかな清流でリフレッシュ！
(有料、白神ふな倶楽部会員限定)
(青森県/白神山地ビジターセンター)

8月下旬

毛馬内盆踊り

8月21日(水)～8月23日(金)
路上に炊いたかがり火を囲んで優雅に踊る輪踊り
(秋田県/鹿角市)

八坂・稲荷神社例大祭 一戸まつり

8月23日(金)～8月25日(日)
神輿や「根反鹿踊り」、町の伝統芸能の練り歩きは必見
(岩手県/一戸まつり実行委員会)

天王グリーンランドまつり

8月25日(日)
花火のほか、お笑いフェスなどイベント盛りだくさん
(秋田県/潟上市)

わらじで歩こうセツ宿

8月25日(日)
山中セツ宿街道を「わらじ」を履いて1kmの道のりを歩く
(宮城県/セツ宿町観光協会)

第14回日本ジオパーク全国大会 下北大会

8月30日(金)～9月1日(日)
「ジオパークでつながる 海 大地 未来」をテーマとした大会
(青森県/むつ市ジオパーク推進課)

9月上旬

アオーネ白神十二湖クラフト展

9月7日(土)～9月8日(日)
秋風そよぐ十二湖で自分好みのハンドメイドを見つけよう
(青森県/アオーネ白神十二湖)

栗駒山麓ジオパーク講座・ガイドウォーク体験

9月7日(土)
鉱山でタイムスリップ、細倉鉱山を探索しよう
(宮城県/栗駒山麓ジオパーク推進協議会)

白神巨木トレッキング

9月8日(日)
ふな巨木ふれあいの径で巨木に触れてパワーチャージ
(青森県/白神山地ビジターセンター)

あっぴりレーマラソン

9月8日(日)
爽快な安比高原42.195kmをチームでタスキをつないでリレー
(岩手県/あっぴりレーマラソン大会事務局)

大館神明社例祭

9月10日(火)～9月11日(水)
「大館囃子」を演奏する曳き山車が市内を巡行する
(秋田県/大館市)

薪投げスポーツ「クッブ」

スウェーデン発祥の「クッブ」は、6人1チームで木製の棒を下手で投げ、相手陣地の角材を倒す競技です。薪を投げて遊んだことが起源と言われ、木製の道具を使ったエコロジカルなスポーツです。

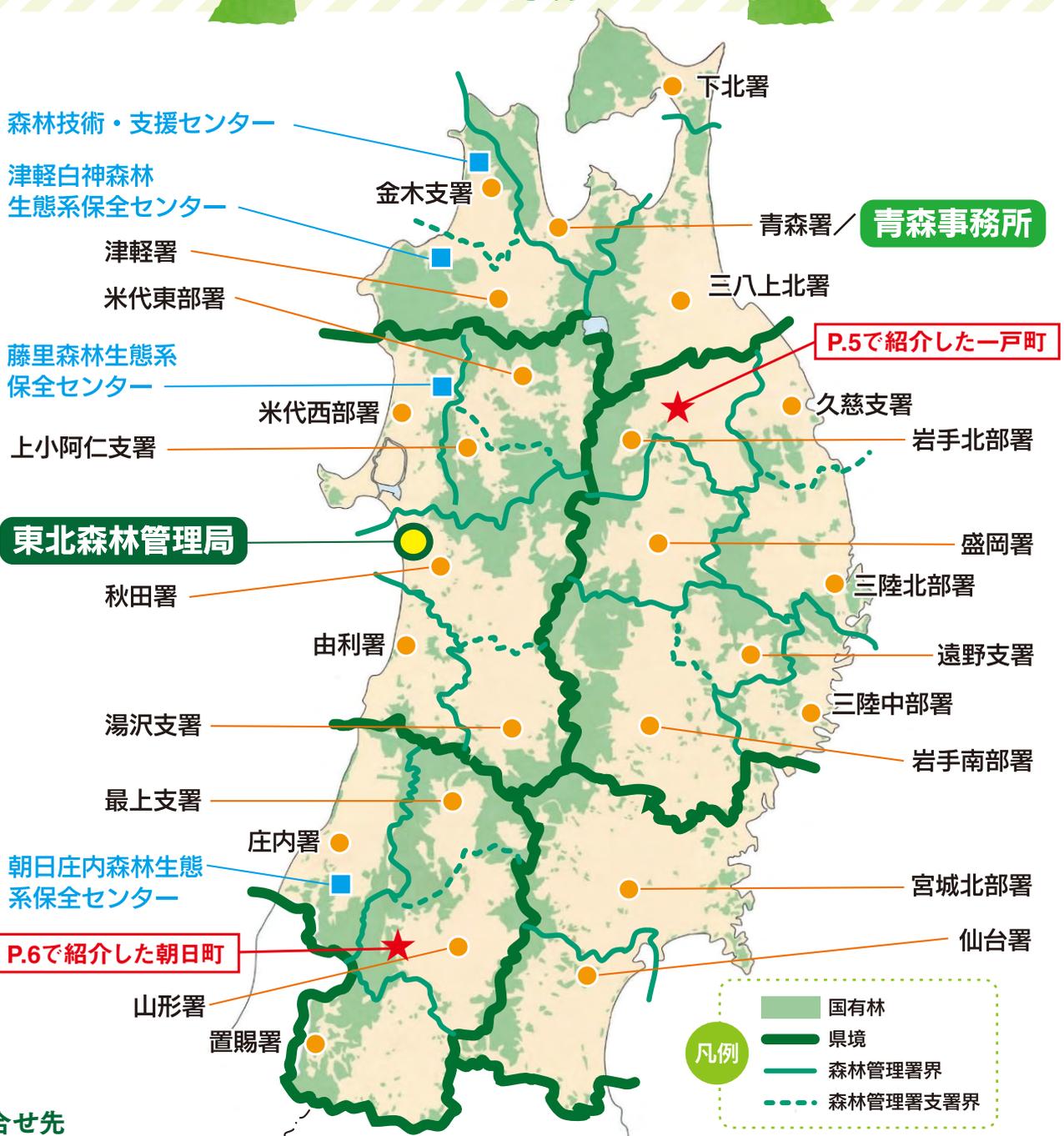
東北森林管理局では6月に岩手県住田町で開催された大会にチームで参加し、10月6日に同地で開催予定のジャパンオープンin住田町にも参加します。子供も大人も気軽に楽しめるクッブを始めてみませんか。



木のぶつかり合う音が爽快！

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074			
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800		仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111			
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115	秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130			
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131		上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422			
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131		米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511			
三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551	秋田署		秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311				
津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署		湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164				
岩手県	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076	山形県	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331		山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122		置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730				
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161							

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.245 ●発行日/令和6年8月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。